

# 明日へ チャレンジ



オカダ合金(株)

取締役社長  
岡田 等氏

● 企業名 オカダ合金(株)

かほく市宇気い6  
076-2833-4222

● 資本金 3,000万円 ● 雇用従業員 32名

● 代表者 岡田 等氏(57歳)

● 創業 1962年4月 ● 設立 1974年12月

● 業種 金型・砂型アルミ合金鋳物製造と機械加工

● 取材 広報委員 岩井 佳行 イワイ家具

かほく市内の企業をシリーズで紹介しております。

今月は、今年創立60周年を迎える金型・砂型アルミ合金鋳物製造と機械加工をしている企業を紹介します。



スポーツカーレクサスLFAが世界限定500台で販売されました。国産車初の炭素繊維シャシーとしても話題になりましたが、その炭素繊維とアルミ構造物を繋ぐ台座の部分を大手材料メーカーから委託を受け当社で製

岩井 どのような技術があるのですか。

をして金沢市北安江の自宅納屋にて非鉄鋳造業を始めました。なぜ起業したかという、長男が障害者で後々のことを考えて起業したと聞いています。そう

夫で奮起し1974年に法人化し現在地に移転しました。オシルシヨック、バブル崩壊、リーマンショックを経て、今年60周年を迎えます。石丸義雄前社長

作しました。500台という数量は業界では少な過ぎるのでしよう。何を言いたいかという

岩井 アルミの温度は何度ですか。

岩井 本日は大変お忙しいところ取材に応じて下さり、誠にありがとうございます。

に私が社長に就任しました。当

岩井 主にどんな製品を作っていますか。

岡田 700℃超です。アルミ

ものづくりは素人ですがよろしくお願ひします。

岡田 ちょうど昨日から3日間

産業展示館でMEX金沢(ビジネス創造フェアいしかわ)があり当社も出展していることもあり、

先ほどまで県外のお客様が来社

され工場案内していました。その際使用した説明資料も使ってご説明しますね。

岩井 創業の経緯についてお聞

かせください。

岡田 1962年、両親が脱サラ

たかっただよう、幼少の頃「商売するなら鉛玉屋か鋳物屋がいいよ」と鉄工所の叔父さんに教わったそうです。煎餅とか機械加工は失敗したら材料もろとも無駄になるが、鉛玉や鋳物は失敗しても材料はまた溶かして使えるのでリスクが小さいということでした。

また、創業当初、かほく市の恩人(織機部品販売店の社長)より木製の糸巻用ビームフランジをアルミ鋳物で作れるか?との打診を受けアルミ鋳造を生業とする自信に繋がったそうです。

岡田 アルミ鋳造品の市場は、実に93%が自動車部品です。当社は自動車産業に参入していません。つまり残りの全ての業界

砂は何回でも再利用できます。一般的な鋳造法だと接着剤等で砂を固めるので薬品とか工数(コスト)がかかりますがVプロセスはその手間がいりません。設備

7%を市場としています。それでも、たまに自動車部品の依頼があり。約10年前、超高級

情です。

岡田 様々な機械製造装置のアルミ部品を作っています。半導体製造装置、医療機器、繊維機械のワインダー、レジャーボート、鉄道、データセンター二重床等々。珍しい分野の仕事では金沢城の

大きな製品が対象となりますが、鋳肌が滑らかで美しく仕上がるのが特徴です。以前お遊びで作った作品があります。それが

超高級

情です。

情です。

情です。

これです。本物の生の真鯛を転写して鑄込んだ「立体魚拓」を作りました。鱗の1枚1枚綺麗に転写されているでしょ？釣り好きな方は目を丸くされすよ。

**岩井** すごくいですね。

**岡田** もう一つは金型鑄造法でこちらは自動車部品業界では比較的ポピュラーな製法です。一般的には大きな装置を用いて大量生産しますが、当社は多品種少量生産のため自作の小さな鑄造機を用いてあえて手作業で行います。この手作業こそがうちの秘訣なのです。熱処理や機械加工の設備も所有し技術探究しているので一貫生産できることが強みです。もう一つコンピュータシミュレーションを活用しており、型製作の前段階で凝固解析等の事前検証を行えることも高品質を支える武器となっています。総じて『デジタルとアナログの融合』これが当社のキーワードと意識付けしています。

**岩井** 経営課題はありますか。

**岡田** 高温のアルミ溶湯や熱した多数の金型を扱うので、やはり作業環境の改善が長年の課題です。重労働「重い・熱い・暑い」だと身体が疲れて若者が離職してしまっただけがある過去

の反省から、数年前より大型冷風機やロボット注湯機の導入・増設を強化しています。とはいえ真夏の暑さ対策は今も課題です。もう一つはコロナ禍も含めて働き方改革です。当社の場合、年間休日を思い切っただけ増やし2018年より完全週休2日制にしました。但し、2班に分かれて土日休みと日月休みの変則シフト制にしたのです。これは従業員に対しては完全週休2日制、顧客に対しては週休1日制となります。結果、1人あたり生産量は変わらず、残業時間は約10%削減されました。ですがこの提案を持ち掛けた当初は社員から反発されましたよ。だからいまあ休日が増えるのだからとやめずやってみようと。今はもう慣れたようで都合の良い面もあるみたいですよ(笑)

**岩井** 人件費の支払い総額は減ったのですか。

**岡田** 残業分は減りました。その代わり効率化した分(利益は賞与に反映すればお互いハッピーでしょ？業績は常時公開しているので会社の状況は全員が解ります。誤魔化しようがないんですよ(笑)

**岩井** 社員教育をしていますか。

**岡田** 一昨年より独自のクレド(企業全体の従業員が心がける心情や行動指針)「オカダ合金WAWY」を作成しました。毎朝1頁ずつ読み、当番さんが気づきを述べる。こちらも最初は抵抗もありましたが今は随分浸透して、良い提案や体験談を話す人が多くなってきました。

**岩井** 他に活動をしていますか。

**岡田** コロナ禍に入り深刻な地域経済状況を鑑み、我々で何かできること(奉仕)はないかと考え、地域の飲食店が作った美味しい弁当をかほく市内全ての障害者施設の方々に配りたいと思いましたが、なんで障害者かというところの創業のきっかけが障害者であったからです。商工会に相談したら石川県飲食業生活衛生同業組合かほく支部長山口浩志さん(焼肉やまちゃん主人)を紹介頂き快く協力してくれました。山口支部長と市職員の方々ははじめ協力頂いた多数の飲食店さんに感謝です。また、届けた先の施設の皆さんが書いてくれた沢山のお礼の言葉(色紙)が社員のモチベーションになっていきます。また、これがご縁で近隣の施設利用者さんが当社の作業を手伝ってくれるようになりました

た。今年も未だコロナ禍中で期待の声もあり実施することを決めました。来週(5月24日)行います。(所属のロータリークラブでも同様な奉仕活動を行っています)

**岩井** 何か珍しいものを製作中とか？

**岡田** はい、現在、60周年記念品としてアルミ鑄物製「鏡」を製作中です。アルミ鑄造でも精密さを追求すれば鏡にすることができると。さすがにガラスの鏡面には及びませんが、このボヤケ具合が現在の自社(自分達)と見つめ直し、より輝きを増す(成長する)ことを目指す意図で製作を試みました。まだ試作段階ですが8月頃に完成予定です。お取引先関係各位にお配りする予定です。もちろん商工会さんにも、ご期待ください。(笑)

**岩井** 最後に商工会に対して要望はございますか？

かほく市内には10余りの施設があり、仕事を求める方々が大勢いらつしやるようです。人は誰しも社会と関わることで生き甲斐を感じるものです。商工会にはこの方々と市内企業をマッチングする機会を作り、広めていって欲しいですね。そうすればより地域連携が増し、魅力的で持続可能な「住みよい街かほく市」の実現に繋がることと思いますよ。是非！

**岩井** 本日は、長い時間興味深い話を聞かせていただきありがとうございました。



アルミ鑄物製「鏡」